

第 60 回 CDM 理事会傍聴出席報告（速報版）

2011 年 4 月 22 日

社団法人海外環境協力センター

I. 理事会概要

1. 日時： 2011 年 4 月 11 日（月）～4 月 15 日（金）
2. 場所： Royal Orchid Sheraton Hotel & Towers（タイ・バンコク）
3. 議題：
 1. 理事会メンバーについて
 2. 議題の採択
 3. ワークプラン
 - a) 運営組織の信任手続
 - b) ベースライン・モニタリング計画の方法論
 - c) 植林・再植林 CDM プロジェクトに関する事項
 - d) 小規模 CDM プロジェクトに関する事項
 - e) プログラム活動に関する事項
 - f) CDM プロジェクト登録に関する事項
 - g) CER 発行及び登録簿に関する事項
 4. CDM 管理計画及び予算に関する事項
 5. その他（(a) プロジェクトの地域不均衡及びキャパシティ・ビルディング、(b) DOE/AE との関係、(c) 利害関係者・各国・NGO との関係、(d) その他）
 6. 閉会



【理事会メンバーについて】

- ・各パネル、ワーキンググループメンバーの選出
- ✓ 認定パネル(CDM-AP)メンバー(任期:2011年8月17日～2013年8月16日): Mr. Ricardo Esparta, Mr. Anik Jauhri, Ms. Marina Shvangiradze
- ✓ 方法論パネル(MP)メンバー(任期:2011年6月1日～2012年5月31日): Mr. Amr Osama Abdel-Aziz, Mr. Ambachew Admassie, Mr. Dinesh Aggarwal, Mr. Jean-Jacques Becker, Mr. Alex Dunn, Mr. Jürg Füssler, Mr. Luis Alberto de La Torre, Mr. Jan-Willem Martens, Mr. Jaime Martin, Mr. Pablo Mello e Souza, Mr. Hemant Nandanpawar, Mr. Daniel Perczyk, Mr. A.K Perumal, Mr. Braulio Pikman, Ms. Ciska Terblanche, Mr. Kenichiro Yamaguchi (山口建一郎氏)
- ✓ 植林・再植林ワーキンググループ(AR WG)メンバー(任期:2011年6月1日～2012年5月31日): Mr. Neil Bird, Mr. Larwanou Mahamane, Mr. Timothy Pearson, Mr. Raul Ponce-Hernandez, Mr. Marcelo Rocha, Mr. Shailendra Kumar Singh, Mr. Xiaoquan Zhang
- ✓ 小規模 CDM ワーキンググループ(SSC WG)メンバー(任期:2011年6月1日～2012年5月31日): Mr. Felix Babatunde Dayo, Mr. Michiel Ten Hoopen, Ms. Carolyn Luce, Mr. Gilberto Bandeira de Melo, Mr. Daniel Perczyk, Mr. A.K. Perumal, Mr. Steven Schiller

【運営組織の信任手続】

＜運営組織(OE)認定＞

- ・OE 新規認定(有効化審査及び検証・認証)(2機関):

- KBS Certification Service Pvt. Ltd (KBS) (インド) (E-0051) (認定スコープ : 1、3、4、5、7、11、13、15)
- Carbon Check (Pty) Ltd (Carbon Check) (南アフリカ) (E-0052) (認定スコープ : 1、2、3、4、5、8、9、10、13)
- OE の認定継承 (OE 名の変更) 承認 :
 - Perry Johnson Registrars Carbon Emission Services, Inc¹ (日本) (E-0031)
- OE 認定申請の取消 :
 - Korea Institute of Construction & Transportation Technology Evaluation and Planning (KICTEP) (韓国) (E-0031)
- 実地調査 (on-site assessment) 評価 (是正の必要無) (3 機関) [実地調査先] :
 - Bureau Veritas Certification Holding SAS (BVCH) (英国) [支社 (中国・北京)] (E-0009)
 - RINA S.p.A. (RINA) (イタリア) [本社 (イタリア・ジェノバ)] (E-0037)
 - Korean Standards Association (KSA) (韓国) [本社 (韓国・ソウル)] (E-0039)
- パフォーマンス評価 (是正の必要無) (6 機関) :
 - Det Norske Veritas Certification AS (DNV) (英国) (E-0003)
 - Bureau Veritas Certification Holdings SAS (BVCH) (英国) (E-0009)
 - TÜV Rheinland Japan Ltd. (TÜV Rheinland) (日本) (E-0013)
 - TÜV NORD CERT GmbH (TÜV Nord) (ドイツ) (E-0022)
 - Germanischer Lloyd Certification GmbH (GLC) (ドイツ) (E-0042)
 - China Quality Certification Center (CQC) (中国) (E-0044)
- パフォーマンス評価 (是正の必要有) (2 機関) :
 - ERM Certification and Verification Services Ltd. (ERM) (マレーシア) (E-0016)
 - Colombian Institute for Technical Standards and Certification (ICONTEC) (コロンビア) (E-0024)

< ガイダンス事項 >

- 2011 年度 CDM-AP 作業計画 (work plan) を承認。
- CDM 認定基準 (CDM accreditation standard) のパラ 166(f)²の要件について、DOE の支社等 (本社以外) のサイトにも適用されることを確認。

【ベースライン・モニタリング計画の方法論】

< 新規方法論 >

- 不承認 (4 件) : NM0302³、NM0331⁴、NM0336⁵、NM0342⁶

< 承認済み方法論の修正 >

- 修正承認⁷ (4 件) : AM0028、ACM0003、ACM0007、ACM0012

¹ 旧名称は“Perry Johnson Registrars Clean Development Mechanism, Inc (PJR CDM) ”。

² パラ 166(f) : 当該プロジェクト参加者の関係者や過去 2 年以内の有効化審査、検証活動に従事した人 (personnel) の関与を禁止。

³ NM0302 : Emission reductions in the cement production facilities of Holcim Ecuador S.A

⁴ NM0331 : Displacement of Traditional Cement Production with the Use of Low-GHG Cement Substitutes

⁵ NM0336 : Introduction of a new, natural gas fired combined cycle power plant for supplying heat (for space and water heating and heat for cooling) to a district heating system and electricity to a power grid

⁶ NM0342 : Grid connection of isolated electricity system

⁷ 今回の修正内容の適用について、2011 年 12 月 15 日 (24:00GMT) 以降、DOE によるプロジェクト登録申請のための UNFCCC-CDM ウェブ上での PDD 公開は修正内容を反映したものに限定。(12 月 15 日までは旧バージョンでの登録申請を認める。)

<ガイダンス事項>

- ・2011年度MP作業計画（work plan）を承認。
- ・AM0024⁸の「同地域・同ホスト国におけるセメント製造過程で一般的に実施されてきた廃熱利用」のパラメータのモニター要件は不必要であると確認し、今後同パラメータのモニターは不要であると決定。
- ・追加性証明のための「その種で初めてのケース利用ガイドライン（“guideline on the use of the first-of-its-kind barriers”）」及び「コモンプラクティス分析（“assessment of common practice”）」の開発に関して、次回EB61までにパブリックコメント受付実施を決定。
- ・「ベースラインシナリオ及び追加性証明統合化ツール（“Combined tool to identify the baseline scenario and demonstrate additionality”）」改訂承認。（代替シナリオの可能性についての定義を盛り込み、「追加性証明・評価ツール」との整合性を図る修正。）
- ・標準化ベースラインのトップダウン型開発に関して、継続して作業を進めるよう事務局に要請。
- ・「電力システムの排出係数算定ツール（“Tool to calculate the emission factor for an electricity system”）」改訂承認。
- ・「クレジット期間更新における最初/現在のベースライン更新の妥当性評価ツール（“Tool to assess the validity of the original/current baseline and to update the baseline at the renewal of a crediting period”）」の修正作業をMPに要請。
- ・AM0023⁹、AM0030¹⁰、ACM0016¹¹の改善について、UNFCCC-CDM ウェブ¹²上を通じて、コメントや提言の募集を決定。
- ・「CDM交通方法論改善に関する実務者向けワークショップ」及び「ベースラインシナリオ同定・ベースライン排出算定基準に関する実務者向けワークショップ」の報告書がUNFCCC-CDM ウェブ¹³上にて公開中。

【植林・再植林 CDM プロジェクトに関する事項】

<新規 AR 方法論>

- ・承認（1件）：
 - **AR-AM0013**：“Afforestation and reforestation of lands other than wetlands”（スコープ：13（植林・再植林））<湿地帯以外での植林・再植林>

<承認済み AR 方法論の修正>

- ・修正承認¹⁴（1件）：AR-ACM0001

<ガイダンス事項>

- ・2011年度AR WG 作業計画（work plan）を承認。

⁸ AM0024：「セメント工場における発電のための廃熱回収・有効利用を通じたGHG排出削減のための方法論」

⁹ AM0023：「天然ガスパイプラインのバスコンプレッサ及びゲートステーションからの漏洩量の削減」

¹⁰ AM0030：「第一次アルミ精錬施設における陽極効果の緩和によるPFCの排出量削減」

¹¹ ACM0016：「大量高速輸送プロジェクトのためのベースライン方法論」

¹² <http://cdm.unfccc.int/methodologies/PAmethodologies/approved>

¹³ <http://cdm.unfccc.int/methodologies/index.html>

¹⁴ 今回の修正内容の適用について、2011年12月15日（24:00GMT）以降、DOEによるプロジェクト登録申請のためのUNFCCC-CDMウェブ上でのPDD公開は修正内容を反映したものに限る。（12月15日までは旧バージョンでの登録申請を認める。）

- ・「AR CDM プロジェクト活動のバイオマス起源の燃焼からの非 CO2 温室効果ガス算定ツール (tool “Estimation of non-CO2 GHG emission resulting from burning of biomass attributable to an A/R CDM project activities”)」改訂承認。
- ・「AR CDM プロジェクト実施に伴う有機土壌内の炭素蓄積量変化算定ツール (“Tool for estimation of change in soil organic carbon stocks due to the implementation of A/R CDM project activities”)」改訂承認。
- ・「AR CDM プロジェクトの炭素蓄積量、樹木・灌木の炭素蓄積量変化推計ツール (tool “Estimation of carbon stocks and change in carbon stocks of trees and shrubs in A/R CDM project activities”)」改訂承認。

【小規模 CDM プロジェクトに関する事項】

＜新規 SSC 方法論＞

・承認 (5 件) :

- **AMS-III.LAT: “Transportation energy efficiency activities installing digital tachograph systems to commercial freight transportation fleets”** (スコープ: 7 (運輸)) < 商業貨物の輸送車両へのデジタルタコグラフシステム導入による運輸の省エネ >
- **AMS-III.AU: “Methane emission reduction by adjusted water management practice in rice cultivation”** (スコープ: 15 (農業)) < 稲作での水調節管理によるメタン排出削減 >
- **AMS-I.J: “Solar water heating systems (SWH)”** (スコープ: 1 (エネルギー産業)) < 太陽熱給湯システム >
- **AMS-II.L: “Demand-side activities for efficient outdoor and street lighting technologies”** (スコープ: 3 (エネルギー需要)) < 需要側での外灯・街路灯の照明技術による省エネ >
- **AMS-III.AV: “Low greenhouse gas emitting water purification systems”** (スコープ: 3 (エネルギー需要)) < 浄水システムでの GHG 排出低減 >¹⁵

＜承認済み SSC 方法論の修正＞

・修正承認¹⁶ (3 件) : AMS-I.E、AMS-III.Q、AMS-II.H

＜ガイダンス事項＞

- ・2011 年度 SSC WG 作業計画 (work plan) を承認。
- ・「マイクロスケールプロジェクトの追加性証明ガイドライン (“Guidelines for demonstrating additionality of microscale project activities”)」改訂承認。(タイプ III プロジェクト、複数のコンポーネントから成るプロジェクト、PoA の CPA にも適用を認める。)
- ・太陽熱調理器 (solar cooker) 適用の新規 SSC 方法論に関する SSC WG によるトップダウン型開発の作業状況について確認。

【プログラム活動に関する事項】¹⁷

＜ガイダンス事項＞

- ・「PoA の枠組の次期改訂における優先分野 (“Priority areas for the forthcoming revision of the regulatory framework for Programme of Activities”)」を承認。

¹⁵ AMS-III.AV の有用性の更なる拡大の模索のため、2011 年 4 月 15 日～5 月 16 日まで、パブリックコメントの受付を決定。

¹⁶ 修正内容は 2011 年 4 月 29 日 (24:00GMT) より発効。

¹⁷ 2011 年 4 月 15 日現在、8 件の PoA プロジェクトが登録済。

【CDMプロジェクト活動の登録に関する事項】¹⁸（プロジェクトの詳細は別添をご参照ください）

- ・登録承認：28件（日本事業者参加案件4件）
- ・修正条件付き登録承認：1件（日本事業者参加案件1件）
- ・レビュー実施決定：なし
- ・登録不承認：1件（日本事業者参加案件なし）
- ・次回EB61へ決定先送り（クレジット期間更新要請案件）：1件（日本事業者参加案件1件）

【CER発行・CDM登録簿に関する事項】¹⁹（プロジェクトの詳細は別添をご参照ください）

- ・発行承認：5件（日本事業者参加案件1件）
- ・レビュー実施決定：なし
- ・発行不承認：4件（日本事業者参加案件なし）
- ・以前、CER発行要請の取り消しを行った案件の再申請提出許可：3件（日本事業者参加案件1件）

【その他】

- ・EB決定文書の国連全公用語（6ヶ国語）への翻訳について、コストパフォーマンス等を勘案した結果、EB meeting reportの要約版のみを公用語に翻訳することに合意²⁰。
- ・アフリカ地域DNAフォーラム・トレーニングを2011年7月にモロッコ・マラケシュで、第12回DNAフォーラムを12月に南ア・ダーバンでそれぞれ開催することが報告。また、ラテンアメリカ・カリブ海地域DNAフォーラム及びアジア太平洋地域DNAフォーラム開催の可能性について事務局に検討を要請。
- ・2011年度のEB・パネル等開催スケジュール（第4版）を承認。（MP及びSSC WGの開催日程変更）
- ・次回第61回CDM理事会（EB61）は、2011年5月30日～6月3日、ドイツ・ボンにて開催予定。

¹⁸ 2011年4月15日現在、2,976件のプロジェクトが登録済。

¹⁹ 2011年4月15日現在、592,245,746CERsが発行済。

²⁰ EB関連文書の英語以外の多言語への翻訳については、プロジェクトの地域偏在解消やキャンペーン・ビルディング実施に関する取組としても位置付けられている。

4. 出席者

網掛部は EB60 欠席メンバー (1名)

出身地域枠		理事 (Member) 【10名】	代理理事 (Alternate Member) 【10名】
国連地域グループ (5地域)	アフリカ	Mr. Victor Kabengale ²¹ (コンゴ民主共和国/環境省)	Ms. Fatou Gaya (ガンビア/環境・森林省(前 JISC 理事))
	アジア	Mr. Shafqat Kakakhel (パキスタン/パキスタン国気候変動タスクフォースメンバー)	Mr. Hussein Badarin (ヨルダン/環境省)
	東欧	Ms. Diana Harutyunyan (アルメニア/自然保護省自治体暖房・温水供給局、アルメニア DNA 事務局)	Ms. Danijela Bozanic (セルビア/環境・国土計画省気候変動ユニット長、セルビア DNA 事務局)
	ラテンアメリカ・カリブ海	Mr. Daniel Ortega Pacheco (エクアドル/外務・貿易・統合省 環境・気候変動室室長)	Mr. José Miguel Leiva (グアテマラ/環境天然資源省 天然資源担当審議官)
	西欧その他	Mr. Martin Hession (イギリス/エネルギー・気候変動省 国際気候変動・オゾンカーボン市場担当)	Mr. Thomas Bernheim (欧州共同体 (EC) /環境総局)
附属書 I 国 (Annex I)		Mr. Pedro Martins Barata (ポルトガル/環境・都市計画・地域開発省 気候変動委員会 上級アドバイザー)	Mr. Lex de Jonge (オランダ/住宅・国土計画・環境省 CDM ユニット長)
		Mr. Akihiro Kuroki (黒木 昭弘 氏) (日本/(財)日本エネルギー経済研究所 常務理事 地球環境ユニット担当)	Mr. Peer Stiansen (ノルウェー/環境省 気候変動上級アドバイザー)
非附属書 I 国 (Non-Annex I)		Mr. Philip M. Gwage (ウガンダ/前 水・土地・環境省 気象局)	Mr. Paulo Manso (コスタリカ/環境・エネルギー省、コスタリカ DNA 事務局)
		Mr. Maosheng Duan (中国/清華大学エネルギー経済研究所)	Ms. June Hughes (セントキッツ&ネイビス/保健・環境省)
小島嶼国連合 (AOSIS)		Mr. Clifford Mahlun (ジャマイカ/地方政府・環境省 気象庁)	Mr. Asterio Takesy (ミクロネシア/政府上級顧問 (前 南太平洋地域環境計画(SPREP)所長))

オブザーバー参加者 : 9名

(文責 : 家本 了誌)

²¹ CMP6 で選出され、EB59 (2011 年 2 月) にて辞任した Tosi Mpanu-Mpanu 氏の後任。

別添：【CDMプロジェクト活動の登録に関する事項】

【CDMプロジェクト活動の登録に関する事項】

<登録申請・レビュー要請案件（4桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当DOE]>

・登録承認：28件（日本事業者参加案件4件）

- “Hebei Weichang Zhangjiawan Wind Power Project” (3093) (中国/フランス) [TÜV-SÜD]
- “Sichuan Songxin 20MW Hydropower Project” (3097)²² (中国/日本[三菱商事]) [TÜV-SÜD]
- “Liusha River First Cascade 12.6MW Hydropower Project” (3114) (中国/スウェーデン) [TÜV-SÜD]
- “Yunnan Province Yingjiang County Nandan River 3rd Level Hydropower Station” (3123) (中国/英国) [TÜV-Nord]
- “Wugang Gas-Steam Combined Cycle Power Plant (CCPP) Project” (3166) (中国/イタリア) [TÜV-SÜD]
- “Biomass based thermal energy generation at M/s. Ester Industries Limited, Khatima, Uttarakhand, India” (3182) (インド) [SGS]
- “Sichuan Baoxing Dengchigou Second Level Hydropower Station” (3205) (中国/英国) [TÜV-Nord]
- “Jiulong County Rekuhe Stage III Hydropower Project, Sichuan Province” (3236)²³ (中国/日本[三菱商事]) [TÜV-SÜD]
- “SK E&S fuel switching CDM bundled project” (3247) (韓国) [KFQ]
- “Wugang Waste Gas Recovery and Power Generation Project” (3328) (中国/イタリア) [TÜV-SÜD]
- “Caruquia 9.76MW Hydroelectric project” (3347) (コロンビア) [ICONTEC]
- “Yunnan Baoshan Songshanhekou Hydropower Station” (3390)²⁴ (中国/日本[双日]) [TÜV-Rheinland]
- “Shanxi Zezhou Dongjiaohe Hydropower Station” (3408) (中国/オランダ) [TÜV-SÜD]
- “Shanxi Yu County Yanjiazhuang Hydropower Station” (3409) (中国/オランダ) [TÜV-SÜD]
- “Shanxi Yangcheng Motan Hydropower Station” (3412) (中国/オランダ) [TÜV-SÜD]
- “Shanxi Yu County Wangjiazhuang Hydropower Station” (3414) (中国/オランダ) [TÜV-SÜD]
- “SANIA fuel switching from natural gas to renewable biomass Project” (3463) (コートジボワール/スウェーデン) [DNV]
- “Hanyang Municipal Solid Waste Incineration for Energy Generation Project in Haining City” (3480) (中国/英国) [SGS]
- “Organoeste Dourados & Andradina Composting Project” (3517) (ブラジル/英国) [TÜV-Nord]
- “Yunnan Luquan Haiyi River 4th and 5th Level Hydropower Stations” (3547) (中国/オランダ) [CEC]
- “Jiangxi Huichang Bai’e 21MW Hydro Power Project” (3789)²⁵ (中国/日本[カーボンキャピタルマネジメント]) [TÜV-Rheinland]
- “Fujian Putian Nanri Phase III Wind Power Project” (3799) (中国/デンマーク) [DNV]
- “Hebei Shiren II Wind Power Project” (3800) (中国/ノルウェー) [SGS]

²² 3097「四川省松新 20MW 水力発電プロジェクト」（日本政府承認 2008 年 9 月 2 日（担当官庁：経済産業省））

²³ 3236「四川省九龍県熱枯河三級発電」（日本政府承認 2008 年 3 月 19 日（担当官庁：経済産業省））

²⁴ 3390「雲南保山松山河口水力発電所」（日本政府承認 2009 年 5 月 7 日（担当官庁：経済産業省））

²⁵ 3789「江西省会昌白鵝 21MW 水力発電プロジェクト」（日本政府承認 2009 年 10 月 1 日（担当官庁：経済産業省））

- “Liaoning Chaoyang Waste Gas Recovery for Electricity Generation” (3832) (中国/ドイツ) [KECO]
 - “Biomass Generation Project in Xun county; Henan province, P.R.China” (3838) (中国/英国) [DNV]
 - “Karya Makmur Bahagia Co-composting Project” (3850) (インドネシア/英国) [DNV]
 - “Relleno Norte Landfill Gas Project” (3877) (メキシコ) [TÜV-Rheinland]
 - “Guanhães Energia CDM Project, Minas Gerais, Brazil (JUN1123)” (3898) (ブラジル) [RINA]
- ・修正条件付き登録承認：1件（日本事業者参加案件1件）
- “Bundled wind energy power projects (2003 policy) in Rajasthan” (1167)²⁶ (インド/日本[JCF]) [SGS]
- ・レビュー実施決定：なし
- ・登録不承認：1件（日本事業者参加案件なし）
- “SSL Wind Power Project” (3433) (インド) [TÜV-Rheinland]
- ・次回 EB61 へ決定先送り²⁷（クレジット期間更新要請案件）：1件（日本事業者参加案件1件）
- “HFC Decomposition Project in Ulsan” (0003)²⁸ (韓国/スイス・日本[イネオスケミカル]) [DNV]

²⁶ 1167「ラジャスタン州衆力発電プロジェクト（2003年政策編）」（日本政府承認2007年3月2日（担当官庁：経済産業省））

²⁷ EB56（2010年9月）にてレビュー実施が決定されていた案件（前回EB59でも決定が先送りされていた）。

²⁸ 0003「韓国ウルサン市におけるHFC類の破壊事業」（日本政府承認2006年12月6日（担当官庁：経済産業省））

別添：【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

【CER 発行・CDM 登録簿に関する事項】

＜CER 発行要請・レビュー要請案件（4 桁の数値はプロジェクト参照番号）（ホスト国／投資国）[担当 DOE]＞

- ・発行承認：5 件（日本事業者参加案件 1 件）
 - “Project for GHG Emission Reduction by Thermal Oxidation of HFC23 in Jiangsu Meilan Chemical CO. Ltd., Jiangsu Province, China” (0011)²⁹（中国/スペイン・イタリア・デンマーク・オランダ・カナダ・英国・フィンランド・ノルウェー・ドイツ・スイス・フランス・スウェーデン・日本[九州電力・四国電力・中国電力・中部電力・東京電力・東北電力・三井物産・三菱商事・ミットカーボンファンド・国際協力銀行・JICA]）[SGS]（モニタリング期間：2009 年 12 月 1 日～2010 年 3 月 31 日）
 - “Electricity generation at 8MW captive power plant using enthalpy of flue gases from blast furnace operation of Kalyani Steels Limited, in Karnataka state of India” (0427)（インド/スイス・スウェーデン・英国）[SGS]（モニタリング期間：2008 年 1 月 1 日～2008 年 12 月 31 日）
 - “HFC23 Decomposition Project at Zhonghao Chenguang Research Institute of Chemical Industry, Zigong, SiChuan Province, China” (0767)（中国/スイス・オランダ・イタリア・英国）[SGS]（モニタリング期間：2009 年 12 月 26 日～2010 年 4 月 30 日）
 - “Methane Recovery in Wastewater Treatment, Project AMA07-W-01, Perak, Malaysia” (1616)（マレーシア/スイス・オランダ）[Sirim Qas]（モニタリング期間：2008 年 6 月 17 日～2009 年 10 月 31 日）
 - “BRASCARBON Methane Recovery Project BCA-BRA-01” (2318)（ブラジル/ポルトガル）[DNV]（モニタリング期間：2009 年 3 月 16 日～2009 年 8 月 16 日）
- ・レビュー実施決定：なし
- ・発行不承認：4 件（日本事業者参加案件なし）
 - “Chuanhua N2O Abatement Project” (1781)（中国/英国）[DNV]（モニタリング期間：2008 年 10 月 24 日～2009 年 11 月 15 日）
 - “Methane Recovery in Wastewater Treatment, Project AIN07-W-04, Sumatera Utara, Indonesia” (2130)（インドネシア/スイス・オランダ）[Sirim Gas]（モニタリング期間：2009 年 1 月 16 日～2010 年 2 月 28 日）
 - “Datong River Zhuchaxia Hydropower Station” (2845)（中国/オランダ）[LRQA]（モニタリング期間：2009 年 12 月 18 日～2010 年 5 月 29 日）
 - “Bailongjiang Shuiboxia Hydropower Station” (2866)（中国/オランダ）[LRQA]（モニタリング期間：2009 年 12 月 21 日～2010 年 5 月 29 日）
- ・以前、CER 発行要請の取り消しを行った案件の再申請提出許可：3 件（日本事業者参加案件 1 件）
 - “Quimobasicos HFC Recovery and Decomposition Project” (0151)³⁰（メキシコ/スイス・オランダ・英国・日本[電源開発]）[TÜV-SÜD]（モニタリング期間：2008 年 9 月 30 日～2008 年

²⁹ 0011 「Jiangsu Meilan HFC23 熱分解プロジェクト」（日本政府承認 2007 年 4 月 23 日（九州電力・四国電力・中国電力・中部電力・東京電力・東北電力・三井物産・三菱商事・ミットカーボンファンド・国際協力銀行）、2008 年 11 月 26 日（JICA）（担当官庁：経済産業省・環境省））

³⁰ 0151 「Quimobasicos HFC23 回復及び分解プロジェクト」（日本政府承認 2006 年 11 月 22 日（担当官庁：経済産業省・環境省））

12月30日)

- “4.5 MW Biomass (low density Crop Residues) based Power Generation unit of Malavalli Power Plant Pvt Ltd.” (0298) (インド/スイス) [DNV] (モニタリング期間：2007年10月1日～2008年7月31日)
- “6 MW renewable energy project for a grid system by Ind-Barath Energies Limited” (0970) (インド/スイス・英国) [BVCH] (モニタリング期間：2009年1月1日～2009年12月31日)